



つばさ

～男女が支えあい、いきいきと暮らせるまちをめざして～

【内容】

- ◇新 津市誕生10周年《特別企画》
津市の男女共同参画を担ってきた男女（なかま）たち
- ◇情報紙つばさ20号記念《特別企画》
今すぐできる！男女共同参画 20のとりくみ
- ◇津市男女共同参画のあゆみ
- ◇女性活躍推進法って…なあに!?
- ◇津市ヘルスマイトおすすめ簡単レシピ紹介



新 津市誕生10周年《特別企画》

津市の男女共同参画を担ってきた 男女（なかま）たち

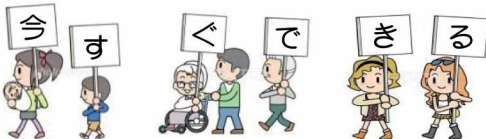


新 津市が誕生して今年で10年!!
この10年の間に、津市の男女共同参画を担ってきていただいた
方々の中から、5人の方にお話を伺いました(^_^)

情報紙つばさ20号記念《特別企画》

今すぐできる！男女共同参画 20のとりくみ

日々の暮らしで男女共同参画にとりくめるヒントがたくさん！



津市男女共同参画のあゆみ

2006年1月1日
新 津市誕生

2007年3月29日
津市男女共同参画都市宣言

2006年9月
情報紙つばさ創刊

2007年3月30日
津市男女共同参画推進条例

津市男女共同参画フォーラム
「わあむ津」の開催

「三重県内男女共同参画連携
映画祭」の開催

2008年7月
津市男女共同参画基本計画

2013年3月
第2次津市男女共同参画基本計画

物理学、化学、平和などの分野において、世界的に偉大な発明やとりくみをした人に贈られるノーベル賞。
これまでこの賞を授賞した日本人の中で、女性は何人いるかな？



津市のPRキャラクター

シロモチくん

※答えは、情報紙の中に。シロモチくんを見つけてね！

新 津市誕生10周年《特別企画》

津市の男女共同参画を担ってきた男女(なかま)たち

新 津市が誕生して10年、またこの男女共同参画情報紙「つばさ」も20号の節目を迎えました。今回、この10年、津市の男女共同参画を担ってきていただいた方々の中から5人の方に登場いただき、ご自身のあゆみや津市の男女共同参画のあゆみを振り返っていただきました。今後も、より多くの人々が手を携え、津市の男女共同参画をさらに進めていきたいと思ひます。

- ① あなたは男女共同参画を進めるために、今までどんなことをしてきましたか？
- ② この10年、津市の男女共同参画は、どんなところが進んできたと思ひますか？

伊 藤 英 子 さ ん (みえウィメンズ・プラン)



- ① 1991年、県と津市の「女性文化祭」、それに続く津市「まほろば」・県の「第一回女性フェスティバル」で実行委員長を務めたのを契機に、この活動を始めました。1995年北京での「第4回世界女性会議」でワークショップを行い、また同年結成した「みえウィメンズ・プラン」でジェンダーチェックリスト4編を作り、啓発活動を始めました。

その後、県や津市の男女共同参画条例づくり等に参画。2003年、旧津市男女共同参画フォーラムで実行委員長を務めた時は、「デブラ・ウィングーを探して」を上映、多くの参加者を得て、三重県内男女共同参画連携映画祭には当初から関わってきました。フレンテみえ企画運営サポーターを経て、2008年「男女共同参画みえネット」

を結成。2011年同ネットの世話人代表として県との協働事業「意思決定の場への女性の参画」応援プランを実施しました。現在も津市男女共同参画フォーラム実行委員の一人として継続して参画しています。

- ② 合併前年から現津市各地域を訪問して協力を求め、その後、安濃、芸濃、白山地域などで津市男女共同参画フォーラム「わあむ津」を開催して広く啓発に努めました。わかりやすく男女共同参画の理解を深めるため、2006年から実行委員会で紙芝居を作成してきました。パターンをふやし、小学校の授業に組み入れてもらい普及に努めました。最近も「だれもが安心な避難所づくり」という、防災に向けて女性の参画の必要性を示したシリーズが完成。これらは大いに啓発に役立つと考えます。

今後も出前講座を開催して小グループ・自治会へ働きかけ、津市全域に啓発をしていきたいと思ひます。

笠 井 瑞 穂 さ ん (津商工会議所女性会副会長)



- ① 津市男女共同参画フォーラムに実行委員として10年以上携わり、フォーラムの中で映画や講演会などたくさんの啓発イベントに関わってきました。一昨年は、女性の社会進出や雇用促進、地域活性化に向けて、農協女性部、漁協女性部、レディース中央会、商工会議所女性会、商工会女性部等女性経営者団体で異業種交流の場「みえはなしょうぶサミット」を発足させ、女性の活躍に向けた研修会を開催しています。

また、昨年は三重県経営者協会女性懇話会と津商工会議所女性会合同で「女性の活躍」をテーマに研修会や女性が活躍している企業に訪問見学するなど、女性経営者として、女性の活躍の場づくりに貢献できるよう、様々な事業を行っています。

- ② 15、6年くらい前、保育園に空きがなく、私の子どもが待機児童で、大変困った時期を経験しました。待機時期は数ヶ月でしたが、仕事に支障が出てしまい、本当に不安な日々でした。男性女性関係なく、仕事を続けていくには保育園や学童保育の充実は大切だと実感しています。

先日、津商工会議所女性会の事業で、「女性が活躍しやすい地域をめざして」をテーマに市長との懇談会を開催、市長から「津市の保育園では待機児童はゼロ」と伺い、仕事と家庭の両立支援が進んだと思ひました。待機児童ゼロにするために時間がかかったように、支援や男女共同参画の啓発活動も、数年で効果がでるものではないと思うので、地道に進めていくことが大事だと思ひます。

田中 小夜子 さん (三重県農村女性アドバイザー)

① 私は津市北部で農業をしています。地域の活動をより活性化するために、県の認定を受けて農村女性アドバイザーという女性農業者の組織に所属しています。その活動の中で市長と農業者の懇談会に出席させていただいています。その際、県内の他市に比べて津市の農業委員が議員以外にいないことから、女性農業委員の登用をお願いしてきました。

また、正副市議会議長にもお会いして直接要望書をお渡ししました。農村女性アドバイザーのメンバーと、各地の小学校へ出前授業に出掛け、食べ物の大切さと共に将来の職業の選択肢の1つとして、農業に夢を持ってもらえたらという思いで子どもたちにも伝えてきました。

② この10年間で、様々な場面における男女共同参画の周知や研修等の実施が功を奏し、女性の登用、男性の意識の変化、育児休暇の取得増加が進んできました。

農業においても家族で取り組む農業経営について、労働時間、労働報酬等を家族との話し合いで決定する家族経営協定があります。これにより女性も決定の場に参加し、待遇の改善に意欲をもって取り組むことができます。津市での締結数も10年前に比べ2倍近くの44件まで増加しました。家族全員が経営に参画し積極的に仕事をする事ができます。これからの若い農業者がますます増えるためにも不可欠なことだと思います。



前田 貴彦 さん (全国男性看護師会 代表)

① 皆さんが病院で目にしたことのある「看護師」ですが、2002年の名称統一までは女性は「看護婦」、男性は「看護師」と性別により名称が異なっていました。現在、男性看護師の認知も高まりその数も増加していますが、看護師全体に占める割合は、2014年度で6.8%と少数であることに変わりはありません。私は、看護職の立場から男性看護師の支援を実施してきました。男性看護師は、将来像の見えにくさや女性患者さんへのケアなど、女性看護師とは異なる不安や悩みを持つこともあります。これらの不安や悩みを軽減・解決する場として、2012年11月に「三重男性看護師会」を立ち上げ活動を始め、2014年度からは「全国男性看護師会」として活動を継続しています。

② 私見ではありますが、男女共同参画に関するこの10年の津市の取り組みを概観すると、様々な分野での女性職員の採用や女性の管理職への登用、防災に対する女性視点の取り入れなど積極的な取組がなされていると感じます。また、男女共同参画をテーマとしたフォーラムの開催や父親の子育て推進事業など市民に対する活動も積極的に行われており、看護職の立場から男女共同参画に取り組む私にとっても嬉しい限りです。そして、未来の津市を担う子ども達に対する推進活動も画期的なことだと思います。しかし、現状に甘んじることなく、津市が今以上にすべての人々にとって暮らしやすい街となるよう、男女共同参画のさらなる推進を期待しています。



東 福寺 一郎 さん (津市立三重短期大学 学長)

① 私が男女共同参画と関わるようになったのは、日本女性会議2000津の準備委員会に加わったことが発端です。その後、研究テーマとして市民や大学生の「男女共同参画に関する意識」を取り上げ、学会や三重短期大学の紀要等でその成果を発表してきました。私の専門は心理学ですが、担当するゼミでは毎年フレンテみえのウェルカムセミナーを利用し、男女共同参画についての学習を行うようにしています。社会活動としては、これまでに三重県男女共同参画審議会委員やフレンテみえの運営委員会委員を務めました。

現在は、内閣府の男女共同参画推進連携会議の委員のほか、津市を含む県内4市の男女共同参画推進に関する会議に関わっています。

② この問いに対して、すらすら回答できないところに歯がゆさを感じます。確かに、男女共同参画フォーラムや各種セミナーをとおして、男女共同参画に対する意識は高くなってきていると思います。また、審議会等における女性委員の割合も少しずつではありますが、増えてきました。このように、この10年で津市の男女共同参画が進んでいることは確かです。

しかし、津市男女共同参画審議会が施策の進捗状況について行っている評価では、毎年、多くの施策が「一定の効果があった」と判定され、「十分な効果があった」という評価は1割に満たない状況にあります。この10年を準備期間として、今後の男女共同参画が大きく推進されることを願います。



今すぐできる！ 男女共同参画 20のとりくみ

1

◆ 料理をしてみよう

男性も子どもも、週に1回は料理をしてみよう
→家事や育児を自分のこととしてとらえてみましょう

2

◆ ゴミ捨てはそれぞれで

ゴミは一人ひとりが分別してゴミ箱に捨てるようにしてみよう
→環境、防災、安全安心に、身近なところからとりくんでみましょう

3

◆ 家事はみんなで分担

家族全員で家事を役割分担してみよう
→男性も女性も、職場や家庭、地域でいきいきと輝けるために、みんなで協力していきましょう

4

◆ 子育てや介護は助け合い

子育てや介護は家族みんなで助け合ってみよう
→ひとりで背負わず、ひとりにおしつけず、子育ても介護もみんなでとりくんでみましょう

5

◆ 下着を洗ってますか？

自分の下着は自分で洗ってみよう
→男女の役割という決めつけをなくし、まずは自分からとりくんでみましょう

6

◆ 家族と過ごす時間

仕事が忙しくても、週末は家族と過ごす（話す）時間をつくってみよう
→家族と過ごす時間をつくろうと考えてみることで、ワーク・ライフ・バランスにつながっていきます

7

◆ 女性の活躍を応援

ノーベル賞を受賞した女性について調べ、世界の割合と日本の割合を比べてみよう
→科学技術・学術分野にとりくむ女性の活躍を応援していきましょう



8

◆ コミュニケーション

日頃から隣近所とコミュニケーションをとってみよう
→男女共同参画を暮らしの中にとりいれていきましょう

9

◆ 地域に参加しよう

自治会やPTAの総会、会議に出席してみよう
→男女共同参画社会づくりの第一歩は地元から。参加することからはじめてみましょう

10

◆ 男性向けの料理教室に通ってみる

（男性）男性向けの料理教室に通ってみる（女性）男性に料理教室に通うことをおすすめしてみよう
→男性が家庭のなかの役割を分担するために、まずは情報や環境づくりをしてみましょう

～おかげさまで20号～

おかげさまで、情報紙つばさも20号を発行することができました。

ご愛読、ご協力いただいた皆さまへ、感謝の気持ちをこめて、

「今すぐできる！男女共同参画 20のとりくみ」を企画してみました。

一人ひとりがお互いを認め合い、それぞれの個性と能力を発揮して性別にかかわらず、いきいきと暮らせるのが男女共同参画社会です。日頃のちょっとした心がけが、男女共同参画社会づくりにつながります。

男女共同参画をますます身近に感じて、できることから始めてみてください。



◆ みんなで防災

11

「暮らしの目線」で防災について、話し合ってみよう

→災害時のニーズには男女で違いがあったりします。男女共同参画の視点で防災にとりくんでみましょう

◆ 未来予想図

12

自分やパートナーが高齢で1人暮らしとなった時の生活を想像してみよう

→高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせる環境を整備していきましょう

◆ 転ばぬ先の杖？

13

生活に困った時のために、公的機関や親戚、地域、友人など、相談する方法を複数さがしておこう

→働きかた、暮らしかたについて、地域や家族、友人と日頃から話し合っておきたいものです

◆ 働きかたを見直そう

14

自分の働きかたを、ワーク・ライフ・バランスの視点で分析してみよう

→仕事と生活の調和を意識してみる。自分や家族の暮らしを大切にしたい働きかたを考えてみましょう

◆ 好きな色はどんな色

15

通学する子どもたちのランドセルの色を注意して見てみよう

→男の子は青、女の子は赤…そんな決めつけをしていませんか？

◆ 健康を保とう

16

健康診断の機会は積極的に活用しよう

→特に女性は出産期や更年期など大きく変化するので、健康診断や健康づくりに心がけたいですね

◆ 男女共同参画を知る

17

男女共同参画に関する講演会やセミナーに参加してみよう

→まずは知ることから。「男女共同参画」に関する情報をチェックしてみてください

◆ 江戸時代の言葉を使ってませんか？

18

「主人」「家内」ではなく「夫」「妻」、「御主人」「奥様」ではなく「お連れ合い」と呼んでみよう

→日ごろのなにげない言葉づかいから、「男女共同参画社会」づくりをはじめてみましょう

◆ 男女共同参画の視点

19

TVのコマーシャルを男女共同参画の視点で真剣にみてみよう

→メディアなどを通じて、「男女共同参画」の意識をひろめていくことが大切です

◆ 言葉づかいにご用心

20

職場などで女性に対して、「寿退社」「女の子」などの言葉や考え方をなくしていこう

→固定的な性別役割分担意識や偏見をなくし、女性が能力を発揮して活躍できる職場にしていきましょう



津市男女共同参画のあゆみ



附：世界・国のうごき／県のうごき

2006年 1月1日
10市町村が合併し
新 **津市** 誕生



スタート!

2006年 「津市男女共同参画懇話会」ができる。
「男女共同参画情報紙」創刊、2号から「つばさ」と名付けられる。

データ 13.2%
新「津市」市議会選挙で女性議員 5人 (13.2%)



2007年 津市男女共同参画都市宣言。津市男女共同参画推進条例ができる。津市男女共同参画審議会が始まる。男女共同参画フォーラムを開催、2回目より「わあむ津」の愛称がつく。

ワーク・ライフ・バランス憲章／改正男女雇用機会均等法施行／三重県男女共同参画基本計画（改訂版）

データ 37.0%
津市市民意識調査で「男は仕事、女は家庭」に反対の割合。全国52.1%に比べて少数派でした。

2014年
「わあむ津」を芸濃総合文化センターで開催。

データ 5.2%
津市内自治会長の女性割合。1005人中52人です。

「女性の大活躍推進三重県会議」キックオフ大会

2015年
「つばさ」19号防災特集。
フォーラム実行委員会が防災をテーマに紙芝居を新作する。



第59回国連婦人の地位委員会「北京+20」／女性活躍推進法成立（※詳しくは次のページに）

2008年
津市男女共同参画基本計画ができる。フォーラム実行委員会が男女共同参画紙芝居の出前授業を始める。



改正DV防止法施行／女性の参画加速プログラム決定

2013年 第2次津市男女共同参画基本計画ができる。「つばさ」で男女共同参画度チェックをつくる。三重県内男女共同参画連携映画祭で「メリダとおそろしの森」を上映する。

ストーカー規制法改正

データ 54.7%
男女の均等な機会・待遇を確保するために、女子のみを対象とした配慮を「特にしていない」と回答した事業所の割合です。

2016年 「わあむ津」開催、テーマは「変わる 動く 発信する～男女共同参画でだれもが安心な防災・減災を～」。

新津市 誕生10周年。
津市の男女共同参画も



ゴールではなく、新たなスタートへ!

2012年 「男女共同参画に関する市民意識調査及び事業所調査」を行う。

データ 45.0%
「男は仕事、女は家庭」に反対の割合。5年前に比べ男女共同参画の意識は進みましたが、全国の55.1%には遠い状況です。

改正育児・介護休業法施行

2011年 「わあむ津」がサンヒルズ安濃で行われる。三重短期大学大学祭で「わあむ津」実行委員会と短大生の「世代を超えたワークショップ」を行う。

第2次三重県男女共同参画基本計画

データ 16.7%
市議会選挙で女性議員 1人増の 6人 (16.7%)

2010年 三重県内男女共同参画連携映画祭に「アイスエイジ3」で初参加。「男女共同参画は進んだのか? 日本女性会議2000津から10年」を開催。

国連「北京+15」記念会合（ニューヨーク）／改正育児・介護休業法／ワーク・ライフ・バランス憲章改正／第3次男女共同参画基本計画



女性活躍推進法って…なあに!?



いきなりだけど、シロモチくんに問題！今からちょうど30年前に、性別を理由とする差別の禁止や、セクハラ防止などを目的として定められた法律の名称は何でしょうか？

テスト問題にもよく出たから、今でも覚えているよ！
「男女雇用機会均等法（※1）」だよな（*^^）v



正解！！さすがシロモチくん（^^♪
じゃあ、今回あらたに「女性活躍推進法（※2）」という法律が平成28年4月に全面施行されるんだけど、知ってた？



テレビでは何度か耳にしたけれど…。
具体的には、どんな法律なのかなあ？



自治体や300人を超える労働者を雇用する事業所（※3）には、組織内における女性の活躍推進に関する課題や問題点を把握・分析して、その課題等を解決するための具体的な行動計画を作ること、そして、その計画にもとづいたとりくみを推進することが義務づけられたんだよ。



へえ、そうなんだ。
でも、どうして新しい法律が必要になったんだろう？



それはね、さっきシロモチくんに答えてもらった「男女雇用機会均等法」は、妊娠や出産を理由とした不当な解雇の禁止など、職場における男女差別の解消のために果たした役割はとても大きかったんだ（*^^）v
けど日本では、「男は仕事、女は家庭」などといった古くからの性別役割分担意識がまだに残っているから、諸外国に比べると（※4）、私たち女性が活躍できる職場環境が整っているとは、まだまだ言えないんだよ（+_+）。



なるほどね。だから、積極的な女性の採用や昇進だけではなくて、仕事や家庭の両立が可能な職場、女性の意思が尊重される職場、などの環境整備を事業主に求めた「女性活躍推進法」が定められたんだね。



そうなんだよ。でも、せっかくの素晴らしいこの法律が、事業所における“管理職に占める女性比率の向上”といった、単なる数値目標達成のためだけのとりくみとして終わらないでほしいなあと思っているんだ。



そうだよね。この法律がきっかけとなって、「性別にかかわらず、みんなが活躍できる魅力ある社会」を築くための大きな一歩になることを期待したいね（*_*)



【※1】 正式名称は「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律」

【※2】 正式名称は「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」

【※3】 300人以下の事業所は努力義務

【※4】 ジェンダーギャップ指数（男性と女性の格差を表す指数：国別・地域別に、経済・政治・教育・健康維持の4項目を算出根拠としている）において、日本は145ヶ国中101位（2015年）。



表紙の答え「〇人」

約100年の歴史を持つノーベル賞は、全世界で約900の個人・団体に授与されてきました。その中で女性は延べ48人にのぼります。これまで24人もの授賞者を輩出してきた日本ですが、残念ながら女性の授賞者は一人もいません。この背景には、女性は学問よりも結婚などといった社会通念上の弊害による大学進学率の低さや、結婚や出産による離職や退職などが挙げられます。

「女性活躍推進法」や新たにつくられた国の「第4次男女共同参画基本計画」が転機となって、日本でもさまざまな場面で活躍する女性が増え、ノーベル賞を授賞できるようになるといいですね。

津市ヘルスマイトおすすめ簡単レシピ紹介

サンマごはん



缶詰を利用した
簡単防災食(^^)

1人分の 栄養価	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂質 (g)	カルシウム (mg)	塩分 (g)
	367	13.4	7.2	170	0.9

日本食品成分表（五訂）より

作り方

骨粗鬆症の予防
にも最適！！



材料（2人分）

- ☆サンマ蒲焼缶詰 1缶（100g）
- ☆精白米 140g（1合）
- ☆ひじき 6g
- ☆みつば 10g

- ① 精白米を研ぎ洗いし、水をきる。
- ② ひじきをもどし、水をきる。
- ③ 炊飯器に①を入れ、サンマ蒲焼缶詰の汁を含め、普通量の水加減まで水を入れる。
- ④ ③に②のひじきとサンマ蒲焼を加え、炊飯する。
- ⑤ みつばを沸騰したお湯にサッとくぐらせ、細かく刻んでおく。
- ⑥ 炊き上がったサンマごはん⑤のみつばを飾る。

編集後記

「つばさ」は節目の20号となり、情報紙として充実してきました。これも初号の立ち上げにご尽力された方々によるものと敬意を表します。

この「20」をキーワードに編集会議をもちました。その内容は本文のとおりです。法律は既に施行の男女雇用機会均等法に、今回さらに一人ひとりの女性がその個性と能力を十分に発揮できる「女性活躍推進法」が4月から全面施行されます。

しかし、課題は男性の意識改革（特に中高年齢層）と実態を踏まえた地道なとりくみが必要と考えます。〈臼井〉

私が初めて編集委員として参加させていただいたのは、第3号で掲載した芸濃町での男性料理教室「楽しく食事づくり」の取材でした。その後、微力ながら編集委員として参加させていただく中で、たくさんの方々に出会い、自分自身多くのことを学ばせていただきました。

また、第10号からは、誰もが簡単に作れる「津市ヘルスマイトおすすめ簡単レシピ」を掲載し、現在も連載させていただいています。

これからも「男女が支えあい、いきいきと暮らせるまち」を目指して、男女共同参画の啓発や普及に努めていきたいと思っています。〈小林〉

「つばさ」の編集を通して、自分の働き方、生き方を考える機会をいただきました。さらに20号記念に携わることができたこと、とても感謝しています。

3年前、千葉県から津市へ転入してまもない頃、ご年配のご夫婦が田畑で力をあわせて働いていらっしゃる姿を見かけて感動し、男女共同参画の原点だなあと感じたのを覚えてます。

「つばさ」は職場で、家庭で、地域で、いきいきと輝く女性たちのために、情報を受発信しています。頑張っている皆さん、これから何かをはじめようという皆さんに、「つばさ」を身近に感じていただき、小さなニュース、大きな喜び・・・何でもお寄せいただきたいと思います。皆さんが笑顔で元気になれる情報を「つばさ」にのせて、お届けしていきますよ。〈脇〉

「つばさ」の編集に携わって10年が経ちました。「男女共同参画情報紙の編集を市民がボランティアでするって、女性の社会参画としてどうなのよ？」と自問自答しながら、取材先の皆さま、その時々々の編集スタッフや男女共同参画室の皆さまに多くのことを学ばせていただくことができました。「津市の中の男女共同参画だけ伝えても、津市の男女共同参画は進まない！」と、県内市町・県・県外・国・海外など、外のことも積極的にお伝えしてきたつもりです。

また男女共同参画以外の方と交流することで、私達の中で常識となっていたことが全く知られていないことに気づけたり、発想の視野が広がったり、また男女共同参画の啓発に繋がったりすることもよい経験になりました。正直言って、津市の男女共同参画はまだまだ発展途上です。世の中に出現する様々なチャンスの紐をとらえ、津市が真の男女共同参画社会となるようこれからも努力していきたいと思っています。〈佐藤〉

ご意見、ご感想をお寄せください(^^)

よりよい紙面づくりのために、皆さまからの貴重なご意見、ご感想をお待ちしています。

①住所②氏名③性別④年齢⑤電話番号⑥つばさの感想を全て記入し、下記までお送りください。

ハガキの場合

〒514-8611 津市男女共同参画室（住所不要）

メールの場合

229-3103@city.tsu.lg.jp

【締切】 **5月31日（火）必着**



※お寄せいただいた感想等については、本紙に掲載させていただきます。

ご意見、ご感想をお寄せいただいた方全員に、粗品をプレゼントいたします！